

## 2009年3月期の重要な欠陥等の分析（第2回）

2009年8月11日

マネジメント・パワー・エクスチェンジ株式会社

当資料は、分析結果のみを掲載した「抜粋版」となっております。重要な欠陥の原因の詳細な分析結果や具体的な事例と今後の検討課題も掲載した「完全版」をご要望の方は、弊社のホームページ (<http://www.mpx-group.com/>) にアクセスしていただき、「プロのかわら版」からお申し込み下さい。後日、完全版をメールにて配信いたします。

マネジメント・パワー・エクスチェンジ株式会社(MPX)は、7月1日に2009年6月末現在で公表されている金融商品取引法に基づく内部統制報告書から、財務報告に係る内部統制の評価に関して「重要な欠陥」を報告しているものを一覧にまとめ、ご報告いたしました。その後、すべての重要な欠陥を対象にその傾向を分析し、8月3日に「上場市場別」と「会社規模別」に分析した結果をご報告いたしました。

今回は、「重要な欠陥の発見のきっかけ」と「重要な欠陥の原因」を分析した結果をご報告いたします。

2008年度は内部統制報告制度の適用初年度ということもあり、各社とも内部統制報告書への記載内容は、質・量ともにさまざまでしたので、内部統制報告書から読み取れなかった背景等については、各社が適時情報開示等でリリースしている情報も合わせて分析の対象にしています。

なお、会社によっては重要な欠陥として複数の原因を報告していますので、会社の数と重要な欠陥の数は一致しません。十分にご留意ください。

弊社の分析結果が、皆様方の今後の内部統制の構築推進・有効性評価のご参考になれば幸いです。

### 【分析項目】

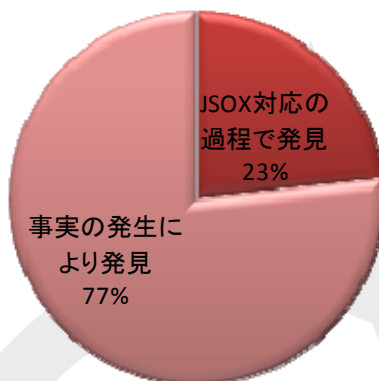
1. 重要な欠陥の発見のきっかけの分析
  - (1) 重要な欠陥の発見のきっかけ
  - (2) 不正・誤謬への対応
2. 重要な欠陥の原因別の分析
  - (1) 全社的な内部統制の内訳
  - (2) 決算・財務報告プロセスに係る内部統制の内訳
  - (3) 決算インフラの内訳
  - (4) 決算処理項目の内訳
  - (5) 業務プロセスに係る内部統制の内訳

## 1. 重要な欠陥の発見のきっかけの分析

### (1) 重要な欠陥の発見のきっかけ

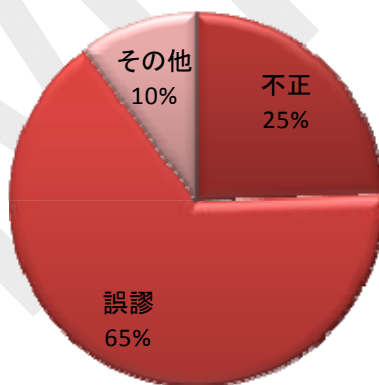
重要な欠陥がどのようにして発見されたのかを分析したところ、「事実」が発生したことがきっかけとなって重要な欠陥を報告している例が、実に約 8 割を占めていました。

#### 重要な欠陥発見のきっかけ



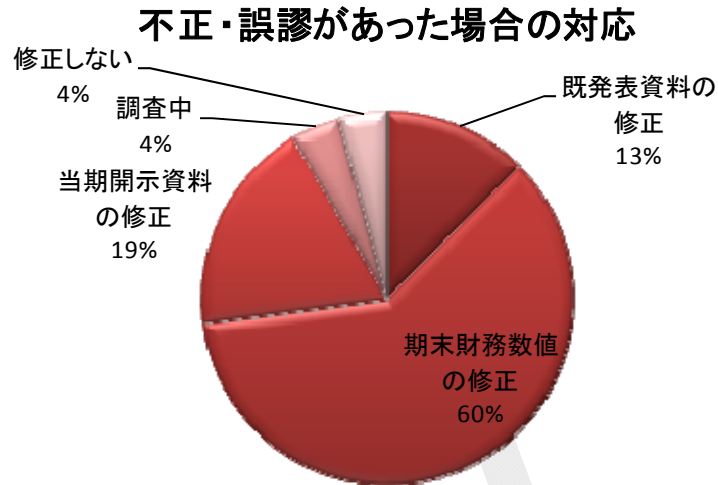
その発生した「事実」の内訳をしてみると、「誤謬」が 65%と最も多く、次いで「不正」が 25%となっています。「その他」には、会計データの消失や決算発表の遅延などが含まれていました。

#### 発生した「事実」の内訳



### (2) 不正・誤謬への対応

不正や誤謬が発見された会社がどのような対応を取ったのかを分析したところ、有価証券報告書を提出する前に過年度及び当該期の財務報告を適切に修正している例が、9 割を超えていました。

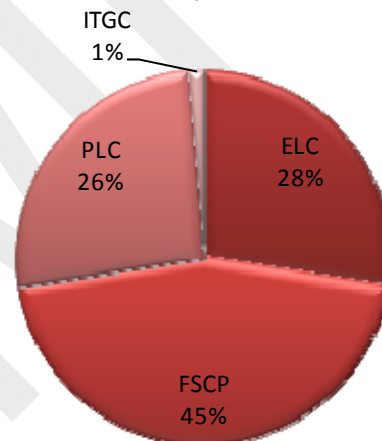


## 2. 重要な欠陥の原因別の分析

重要な欠陥が、全社的な内部統制(ELC)、決算・財務報告プロセスに係る内部統制(FSCP)、業務プロセスに係る内部統制(PLC)、IT全般統制(ITGC)のうち、どの内部統制から発見されているのかの分析を行いました。

この結果、決算・財務報告プロセスに係る内部統制(FSCP)で最も多く(45%)の重要な欠陥が報告されていました。

### 重要な欠陥が発見された内部統制

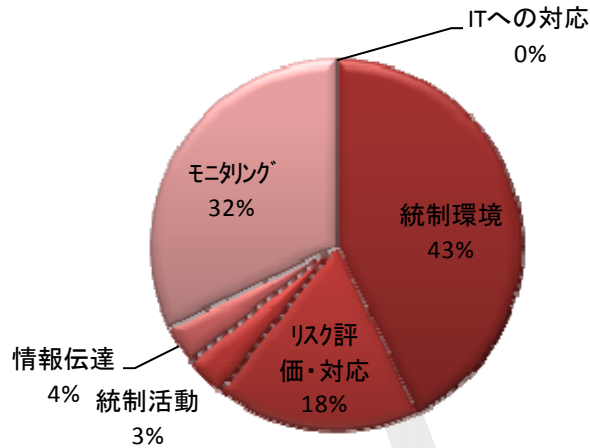


以下、各項目の分析結果をご紹介します。

#### (1) 全社的な内部統制の内訳

全社的な内部統制から報告された重要な欠陥のうち、統制環境、リスク評価と対応、モニタリングの3項目の合計が9割を超えていました。

### 全社的な内部統制

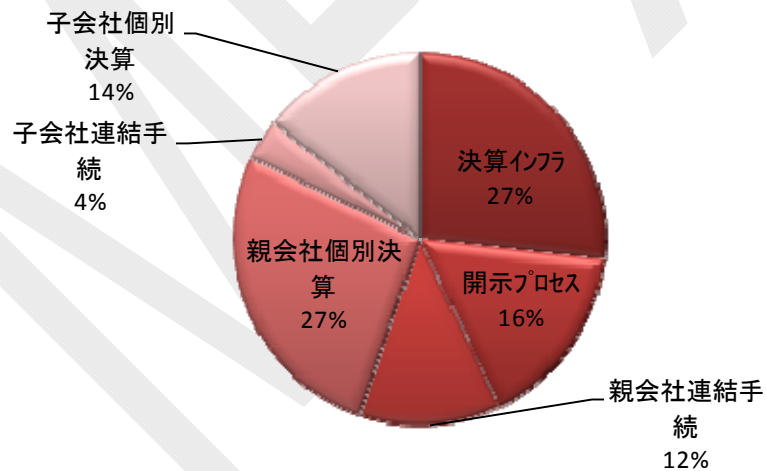


#### (2) 決算・財務報告プロセスに係る内部統制の内訳

決算・財務報告プロセスに係る内部統制から報告された重要な欠陥のうち、親会社に関係するもの(※)が8割を超えていました。

(※)下記グラフの決算インフラ、開示プロセス、親会社連結手続、親会社個別決算

### 決算・財務報告プロセスに係る内部統制

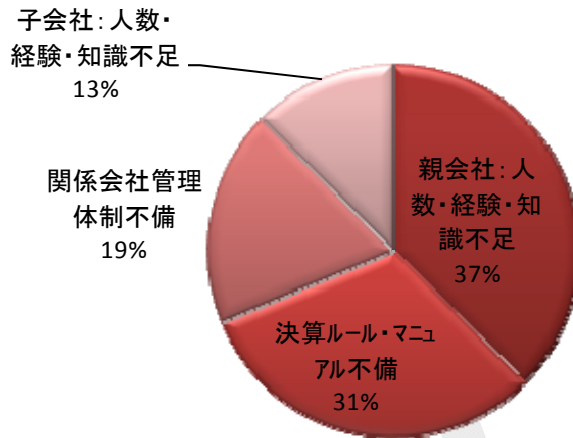


#### (3) 決算インフラの内訳

上記「(2) 決算・財務報告プロセスに係る内部統制の内訳」で見いただいたとおり、決算インフラに係る重要な欠陥が、決算・財務報告プロセスに係る内部統制から報告された重要な欠陥の約3割を占めています。この内訳を分析したところ、「人数・知識・経験不足」が5割(※)を占めました。

(※)親会社と子会社の合計

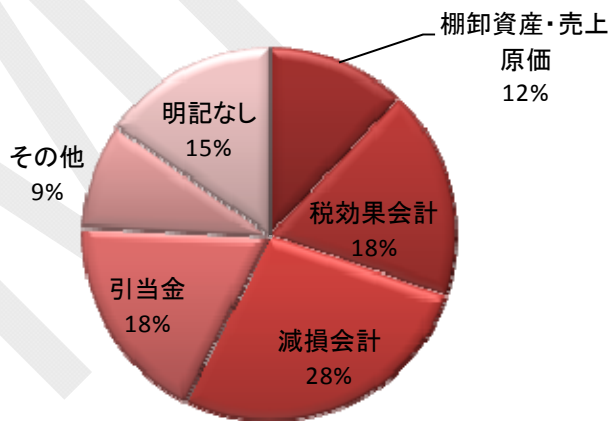
### 決算インフラの内訳



#### (4) 決算処理項目の内訳

上記「(2) 決算・財務報告プロセスに係る内部統制の内訳」で見いただいたとおり、決算処理(連結手続、個別決算手続)に係る重要な欠陥が、決算・財務報告プロセスに係る内部統制から報告された重要な欠陥の約6割を占めています。この内訳を分析したところ、「税効果会計」、「減損会計」、「引当金」といった見積りを伴う項目が約6割を占めました。

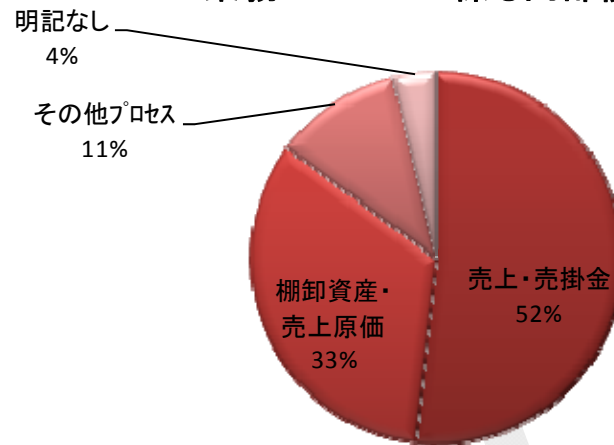
### 決算処理項目の内訳



#### (5) 業務プロセスに係る内部統制の内訳

業務プロセスに係る内部統制から報告された重要な欠陥のうち、いわゆる「重要3勘定」である、売上・売掛金・棚卸資産に関係するものが8割を超えています。

### 業務プロセスに係る内部統制



### 3. マネジメント・パワー・エクスチェンジ株式会社 (MPX) について

弊社、マネジメント・パワー・エクスチェンジ株式会社 (MPX) は、公認会計士として 25 年の経験を持つ代表を中心に、大手監査法人で 10 数年以上、会計監査とコンサルティングの両方の経験を積んだ公認会計士で構成し、活動しているコンサルティング会社です。以下のようなメニューで、皆様のビジネスのパワーアップをサポートしております。

#### 【パワーアップメニュー】

- ・ 内部統制構築支援 (いわゆる J-SOX 対応を含む)
- ・ 内部監査支援
- ・ ビジネスリスク評価支援
- ・ 業務改善支援
- ・ 公開 (IPO) 支援
- ・ グループ企業管理支援 (海外経験コンサルタント及び海外提携先により、海外対応も承ります。)

また、弊社グループのアームズ株式会社では、一般経理業務から会計、税務、内部監査、内部統制、英訳等の業務に対し、専門的知識及び豊富な経験がある人財を提供することで、各企業様の業務効率のパワーアップサポートを行っております。

【代表者】 宇佐美 豊 (公認会計士、公認内部監査人)

【住 所】 〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-2 明宏ビル本館 4 階

【連絡先】 [info-mpx@mpx-group.com](mailto:info-mpx@mpx-group.com)

【H P】 <http://www.mpx-group.com/>